

## 各部局の取組（発災から平成 24 年 3 月末まで）

## 【政策部】

- 「三重県被災地住民住宅・一時滞在場所情報提供窓口」を設置（3月22日）
- 県職員からの義援金 10,025,107 円を、日本赤十字社を通じて寄附（3月31日）
- 県のホームページを通じた情報提供（3月14日～）
- 県の広報番組（テレビ・ラジオ）を通じた義援金や支援物資の受付等に係る情報提供
- 全国避難者情報システムの運用を開始（4月25日～）
- 宮城県多賀城市への市町職員の派遣を支援（津市、四日市市、桑名市、尾鷲市、亀山市、熊野市、伊賀市、木曽岬町、東員町、菟野町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、南伊勢町、御浜町、紀宝町、大紀町 5月24日～7月31日（団体により期間が異なる。）避難所運営支援 計 131 名）
- 宮城県南三陸町への鳥羽市職員の派遣を支援（6月15日～12月14日 町長秘書 1ヶ月交代 6名）

## 【総務部】

- 県職員公舎の提供可能数をホームページに掲載（3月24日津市内 10 戸、伊賀市内 10 戸）
- 宮城県塩竈市へ事務職員等を派遣（3月29日～9月18日 計 20 班 156 名）
- 国家公務員宿舎の提供可能数をホームページに掲載、受付開始（4月1日～）
- 県職員公舎の受付を開始（4月5日～）
- 宮城県多賀城市へ事務職員等を派遣（5月23日～8月1日 計 11 班 23 名）
- 宮城県南三陸町へ事務職員等を派遣（6月14日～12月15日 計 6 班 12 名）

## 【防災危機管理部】

- 「救援物資対応窓口」の開設（3月18日～4月3日休止）
- 現地連絡・調整要員の派遣（3月22日～9月30日 先遣隊+39班 計 91 名）
- 防災ヘリコプターの派遣（3月12日～4月17日 計 3 回 18 名）
- 東日本大震災支援プロジェクトの設置（5月16日）
- 「被災地住民受入支援チーム」の設置（5月16日）
- 応急仮設住宅における生活支援の実施（11月16日 宮城県多賀城市内の 6 地区の応急仮設住宅に生活支援としてファンヒーター 373 個を提供）
- 学校給食用食材の支援（11月16日～12月21日 宮城県沿岸の小中学校に学校給食用食材として南伊勢町産みかん約 56,000 個を提供）
- 県民から受け付けた支援物資の被災地への搬出終了（12月22日 搬出数 15,323 箱）
- 東日本大震災支援フォーラム三重（平成 24 年 3 月 11 日 生涯学習センター みえボランティア支援センターと共催）
- 第 63 回三重県消防大会と政府主催の東日本大震災一周年追悼式の会場を映像接続（平成 24 年 3 月 11 日）
- 県内避難者のための「支援の集い」開催（平成 24 年 3 月 18 日 じばさん三重）
- 東日本大震災支援活動報告会開催（平成 24 年 3 月 21 日 水産会館）

## 【生活・文化部】

- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動

- ・みえ災害ボランティア支援センターの設置（3月14日）
- ・岩手県下閉伊郡山田町への先遣隊の派遣（4月1日～5月8日 計4班22名）
- ・センター事務局ボランティアの募集（4月5日～）
- ・ボランティア活動支援金の募集（4月5日～ 計10,133,529円）
- ・「私たちにできることを考える緊急集会・三重」（アスト津）の開催（4月11日）
- ・ボランティアバス「みえ発！ボラパック」の実施（4月28日～11月19日 計36便648名）
- ・あったかい想い届け隊「みえ発！ボラパック」の実施（11月5日～11月8日 計7人）
- ・写真等の洗浄ボランティア「思いで戻し隊・みえ」の実施（5月14日～1月27日）
- ・県内避難者の座談会「みえで仲間をつくり隊」の開催  
（7月18日ほか 計7回 県内避難者162名）
- ・県内避難者への情報誌等の配布（7月～ 毎月1回）
- ・山田町現地事務所の設置（8月19日～）
- ・「山田町ではってマップ」第1号の作成及び配付（12月28日～）
- ・「山田町ではってマップ」第2号の作成及び配付（3月1日～）
- ・「東日本大震災 写真展」の開催（1月8日～1月22日）
- ・「東日本大震災支援フォーラム三重」の開催（平成24年3月11日 三重県立図書館 三重県東日本大震災支援プロジェクト共催）  
文化財、美術品、公文書等の緊急保全のため、学芸員等を岩手県、宮城県及び長野県に派遣  
（5月5日～ 延べ18名）  
被災地図書館調査のため、司書等を岩手県、岩手県及び福島県に派遣（8月2日～ 6名）  
文化財等の緊急保全のため、岩手県陸前高田市内中学校で津波被害を受けた美術品4点を受け入れ、修復（11月25日～）

#### <県立図書館の取組>

- 「東北を知ろう、東北へ行こう！」キャンペーンの開催
- ・岩手、宮城、福島各県の地方紙を設置（7月～平成24年3月）
- ・県内の図書館との連携により、館内展示等を通じて、東北地方に関する所蔵図書のほか、ボランティア情報や観光パンフレット等を提供（7月～10月）
- ・被災地を体験した方の声を聞くトークライブを全3回開催
- ・岩手、宮城、福島の各県に職員を派遣し、被災時の図書館のあり方についての現地調査を実施
- 「東北を記憶する」月間の開催
- ・フォーラム「3.11から未来へ」の開催（平成24年1月9日）
- ・シネマトーク『「家」という感覚』の開催（平成24年3月10日）
- ・松原豊写真展「大槌町/2011夏・2012冬」を、県内の図書館との連携により開催  
（平成24年3月～5月）

#### 【健康福祉部】

DMA T（災害派遣医療チーム）派遣（3月11日～3月13日 県立総合医療センター、市立四日市病院、松阪市民病院、三重大学医学部附属病院 計4チーム 21名）

医療救護班派遣（3月17日～7月16日 三重大学医学部附属病院、県立総合医療センター、市立伊勢総合病院、市立四日市病院、鈴鹿中央総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院、いなべ総合病院、桑名市民病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院、荒坂診療所、紀南病院、名張市立病院、亀山市立医療センター、小山田記念温泉病院、主体会病院、青木記念病院、久瀬医院、上野総

合市民病院、尾鷲総合病院、富田浜病院、大西クリニック、四日市社会保険病院、県立志摩病院、  
県立一志病院、遠山病院、山本総合病院 計 30 班 221 名)

病院事業庁(県立病院)派遣分を含む

保健師派遣

(3月16日~9月1日 県、四日市市、津市、名張市、桑名市、伊賀市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市、  
尾鷲市、亀山市、志摩市、菰野町、大台町、紀宝町、朝日町、明和町、南伊勢町、木曾岬町、東員  
町、度会町、川越町、紀北町、御浜町、大紀町、玉城町、熊野市、多気町 計 45 班 148 名)

(11月8日~11月23日 県のみ計 2 班 4 名)

心のケアチーム派遣(3月22日~5月31日 こころの健康センター、こころの医療センター、三  
重大学医学部附属病院、鈴鹿厚生病院、松阪厚生病院、県立小児心療センターあすなる学園、鈴鹿  
さくら病院、総合心療センターひなが、上野病院、南勢病院、北勢病院、多度あやめ病院 計 14  
班 64 名)

病院事業庁(県立病院)派遣分を含む

歯科医師派遣(4月8日~4月18日 県 計 2 班 2 名)

管理栄養士派遣(4月20日~6月11日 県 計 14 班 14 名)

児童福祉関係職員派遣(4月17日~4月23日 県 計 1 班 2 名)

児童精神科医派遣(11月15日~11月16日 県立小児心療センターあすなる学園 計 1 班 1 名)

県社会福祉協議会(県内市町社会福祉協議会含む)から、生活福祉資金の貸付業務支援、現地災  
害ボランティアセンターの設置運営支援等のため、職員を派遣(3月19日~9月11日 計 先遣隊  
+ 34 班 103 名)

医療従事ボランティアの募集(3月24日~8月31日 県ホームページ)

医薬品、衛生材料 291 箱を宮城県に提供(3月22日)

共同募金会、日本赤十字社の募金箱を県本庁舎及び各総合庁舎へ設置

被災地からの避難者向けに、ホームページで福祉関連情報を提供

県内の環境放射能測定結果、水道水・降水物(大気中の雨水やちり等)の放射性物質の測定結果  
について、ホームページで情報を提供

県民の方から同意をいただいた義援金について、「東日本みやぎこども育英募金」に寄付

災害救助法に基づく被災県からの応援要請に応じ、市町等との連絡調整、避難者への住宅の提供  
等を実施

## 【病院事業庁】

DMA T(災害派遣医療チーム)派遣(3月11日~3月13日 県立総合医療センター 1 チーム  
5 名)

医療救護班派遣(3月23日~6月16日 県立総合医療センター、県立一志病院、県立志摩病院  
計 3 班 14 名)

心のケアチーム派遣(3月25日~4月20日 こころの医療センター 計 3 班 15 名)

災害支援ナース派遣(3月24日~4月28日 計 4 班 7 名)

作業療法士派遣(5月6日~5月11日 1 班 1 名)

東京電力福島第一原発内診療所へ診療放射線技師派遣(1月18日~2月23日 2 班 2 名)

## 【環境森林部】

三重県環境整備事業協同組合からし尿処理の収集運搬業務を行う人員、車輛の岩手県への派遣

(人員 43 人、バキューム車 20 台、トラック・ワゴン車 5 台、期間：3 月 21 日～3 月 30 日)

日本水道協会中部地方支部災害時相互応援協定に基づき、同協会の調整のもと、津市、四日市市、桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町が人員・車輛を宮城県へ派遣。(延べ人員 26 人、給水車 4 台、日本水道協会からの支援要請期間：3 月 17 日～3 月 29 日)

災害廃棄物の受入処理に関する調査を県内市町等を実施し、受入可能量を把握  
(4 月 11 日～4 月 13 日)

仙台市衛生研究所から大気環境中アスベスト濃度調査に係る検体の分析依頼があり、保健環境研究所において分析を実施(4 月 13 日～4 月 27 日 3 検体)

環境省の要請により、災害廃棄物処理のため岩手県大船渡市へ環境森林部職員を派遣  
(8 月 19 日～9 月 15 日、8 月 19 日～10 月 20 日、10 月 20 日～12 月 22 日、平成 24 年 1 月 10 日～3 月 13 日 各 1 名)

### 【農水商工部】

被災企業等の操業支援窓口の設置(3 月 30 日～)

被災企業の事業継続への支援(7 月 8 日～)

宿泊施設における被災者の受入れ体制の整備

宮城県へ漁港復旧のため農業土木職員の派遣〔長期〕

(6 月 1 日～12 月 16 日 3 班 6 名 2 ヶ月交代 延べ 6 名)

宮城県の農業農村整備支援のため農業土木職員の派遣〔長期〕

(9 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日 2 班 6 名 3 ヶ月交代 延べ 6 名)

被災した農業者の受入定着を支援

仙台空港の屋外花壇に三重県産の花壇苗の提供と植栽支援(7 月 20 日、9 月 10 日)

三重県漁船の東北地方の漁港への寄航促進(東北地方への水揚げ寄航を行う三重県漁船を支援し東北地方の水産業復興につなげる)

農林漁業就業・就職フェアにおいて東日本大震災被災者のための個別相談コーナーを設置  
(7 月 9 日、平成 24 年 2 月 4 日)

東北地方の観光パンフレットの配付及び物産販売

・「La Festa Primavera2011」にて被災地の募金活動を支援(4 月 16 日～4 月 20 日)  
・「刈谷ハイウェイオアシスでの観光 PR：『がんばろう！日本』東北復興支援」(4 月 29 日～5 月 1 日)

・「ぐるめまちなかグランプリ」(5 月 21 日～22 日)

・宮城県物産即売会「がんばろう宮城復興応援フェアの開催」(6 月 7 日～6 月 8 日)

・被災地産品プレゼント「夏キャンペーン」(7 月 1 日～8 月 31 日)

・みえ農商工連携フェア開催(10 月 2 日)

・地域物産品市場支援 8 箇所(11 月 2 日～平成 24 年 3 月)

・宮城県物産即売会「F1 グランプリ」(10 月 7 日～9 日)

・F1 グランプリで国歌斉唱した南相馬少女合唱団への記念品贈呈(10 月 9 日)

・宮城県物産即売会「新老人の会」ジャンボリー三重大会(10 月 16 日)

・宮城県物産即売会及び観光パンフレット配付「東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村」(10 月 22 日)

・東北物産展「がんばろう東北」フェアの開催(10 月 22 日～25 日)

・リーディング産業展みえ 2011 開催(11 月 2 日～3 日)

・「地域ブランドサミット in まつさか」(11 月 4 日～6 日)

- ・宮城県物産即売会「ミズノクラシック」(11月4日~6日)
- ・きいながしま港市(12月10日)
- ・三重の農林水産業復興応援フェアにおいて東北3県の物産販売(メッセウイング・みえ)  
(平成24年3月24日)

#### < 県内産業への対応 >

##### 水産業への対応

へい死魚類や被災ノリ網等の収集・運搬・撤去等沿岸漁場環境回復のための支援

津波被害を受けた養殖施設、共同利用施設及び定置網等の復旧のための支援

県内でのカキ種苗供給体制の確立、種苗等の購入に必要な資金供給等稚魚・稚ガキの確保対策

津波被害を受けた県内漁業者の経営再建のための資金融資

過去の債務の借換促進、災害に強い新たな養殖生産体制の構築、販路拡大等の再生意欲の醸成

のための支援

東日本大震災に係る津波により被害を受けた県内水産業を支援するため三重の水産業復興応援フェア開催(平成24年3月24日)

##### 中小企業への対応

震災の影響を受けた県内中小企業への円滑な資金供給

(「リフレッシュ資金〔3月17日~〕」及び「セーフティネット資金〔4月1日~〕」の要件緩和と「東日本大震災対策緊急資金〔5月23日~〕」の創設)

震災によるサプライチェーンの再構築にかかわる原材料変更に伴う評価支援

工業製品に関する残留放射能測定の実施(7月1日~)

緊急販路開拓支援事業(東日本大震災の影響を受けた県内ものづくり中小企業を支援)

東日本大震災対策緊急資金の融資枠の拡大

##### 観光業への対応

震災で落ち込んだ県内への観光誘客を促進するための首都圏や主要駅での観光情報発信

海外誘客のためのICTを活用した情報発信

観光振興緊急対策事業(東日本大震災の影響による観光客数の落ち込み等に対応する取組を支援)

#### 【県土整備部】

県営住宅の提供及び入居に必要な設備の整備

(提供戸数:50戸、整備内容:浴槽、風呂釜、居室電灯、ガスコンロの設置)

3月31日現在49件を受付、入居決定32件、9戸24人入居

日本下水道協会の相互応援協定に基づく協力要請により、下水道管路の被災調査に県1名、四日市市3名の技術職員を宮城県へ派遣。(4月5日~4月11日)

宮城県へ土木技術職員の派遣〔短期〕(5月15日~6月1日、土木職3名:気仙沼土木事務所)

宮城県へ土木技術職員の派遣〔長期〕(6月1日~10月31日、土木職3名:東部土木事務所、建築職1名:教育庁生涯学習課)

#### 【企業庁】

企業庁職員住宅の提供可能数をホームページに掲載(3月22日 単身用~大台町内5戸・紀北町内6戸、世帯用~四日市市内5戸・大台町内3戸)

経済産業省の要請により、工業用水道施設の応急復旧支援に宮城県企業局へ土木技術職員を2名派遣(3月22日~3月28日)

日本水道協会中部地方支部災害時相互応援協定に基づく協力要請により、被災地の応急給水活動支援に宮城県へ職員・車輛を派遣（土木技術職員 4 名、給水タンク 1.5 t 搭載トラック 1 台、資機材運搬車 1 台、期間：3 月 26 日～3 月 29 日）

経済産業省の要請により、工業用水道施設の応急復旧支援に宮城県企業局へ土木技術職員を 2 名派遣（4 月 8 日～4 月 15 日）

## 【教育委員会】

被災地域の児童生徒等の転入学支援開始（3 月 15 日）

平成 24 年 2 月 29 日現在で、94 名を受入れ。

（内訳 公立小学校 78 人、公立中学校 13 人、県立高校 2 人、県立特別支援学校 1 人）

関係団体に被災児童生徒の臨時健康診断等の協力依頼（3 月 16 日）

被災地域の都道府県及び政令指定都市の教育委員会へ、被災地域の高等学校等で、保護者等の転居、親族家庭への避難等により本県の県立高等学校等への転入学等を希望する生徒がいる場合には柔軟に取り扱う旨を通知（3 月 17 日）

教職員住宅提供可能数をホームページに掲載（4 月 1 日 世帯用 18 戸 単身用 18 戸）

宮城県気仙沼市の小中学校へスクールカウンセラーを派遣（5 月 9 日～6 月 17 日 計 6 班 6 名）

宮城県南三陸町の小中学校へスクールカウンセラーを派遣（6 月 20 日～7 月 20 日 計 5 班 5 名）

宮城県南三陸町の小中学校へスクールカウンセラーを派遣（7 月 26 日～8 月 5 日 計 2 班 4 名）

宮城県気仙沼市の小学校へスクールカウンセラーを派遣（8 月 22 日～8 月 27 日 計 1 班 1 名）

宮城県気仙沼市の小学校へスクールカウンセラーを派遣（9 月 7 日～9 月 9 日 計 1 班 1 名）

宮城県気仙沼市の県立高校へ臨床心理相談専門員を派遣（5 月 16 日～7 月 20 日 計 1 班 1 名）

宮城県南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（9 月 26 日～10 月 1 日 計 2 班 2 名）

宮城県南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（10 月 19 日～10 月 22 日 計 1 班 1 名）

宮城県気仙沼市及び南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（10 月 30 日～11 月 3 日 計 1 班 1 名）

宮城県南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（11 月 6 日～11 月 9 日 計 1 班 1 名）

宮城県気仙沼市及び南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（11 月 27 日～12 月 3 日 計 1 班 1 名）

宮城県南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（12 月 18 日～12 月 21 日 計 1 班 1 名）

宮城県気仙沼市及び南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（平成 24 年 1 月 15 日～1 月 21 日計 4 班 4 名）

宮城県南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（平成 24 年 2 月 20 日～2 月 25 日 計 2 班 2 名）

三重県教育委員会、三重県市町教育長会、三重県教職員組合など教育関係団体 10 団体が連携して義援金を募集（3 月 25 日～4 月 28 日）し、教職員等から寄せられた義援金 3,243,001 円を、日本赤十字社三重県支部を通じ寄附（6 月 1 日）

市町と協働して、被災地児童生徒が県内の社会教育・スポーツ施設を利用する際の使用料を減免（7 月 15 日～平成 24 年 3 月 31 日 1 月 31 日現在で 53 名を使用料免除）

高校生ボランティアを福島県へ派遣（7 月 31 日 高校生及び引率教員 1 班 45 名）

宮城県気仙沼市及び南三陸町の小学校へスクールカウンセラーを派遣（平成 24 年 3 月 4 日～3 月 17 日 第四期第 8～11 班 4 名）

## 【警察本部】

広域緊急援助隊の派遣（3月11日～6月4日 193名 宮城県、福島県）

機動隊の派遣（3月14日～ 885名 宮城県、岩手県、福島県）

パトロール隊、警戒警ら隊の派遣（4月14日～11月22日 185名 宮城県、岩手県、福島県）

航空隊の派遣（3月15日～3月22日 4名 宮城県）

警護員の派遣（5月18日～5月22日 3名 福島県）

女性警察官部隊の派遣（6月20日～6月29日 5名 福島県）

特別交通派遣部隊の派遣（7月11日～12月3日 41名 宮城県）

特別機動捜査部隊の派遣（8月25日～12月6日 16名 福島県）

県内 18 警察署及び警察本部職員からの義援金 520 万円を日本赤十字社を通じて寄附(3月31日)

運転免許証の再交付等警察関係手数料の減免措置（4月25日～8月31日）